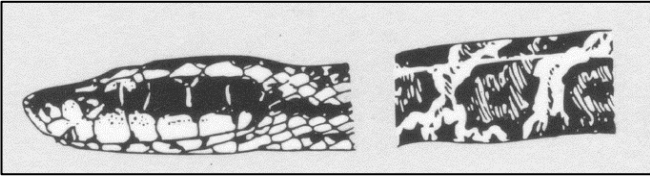


注意しよう！ 野外の動植物

～特徴をよく知り、事故を未然に防ごう！～

マムシ

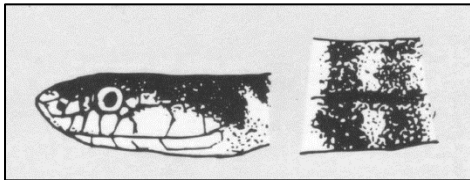


- 太くて短いヘビ
- 体の両側に黒みがかった銭形模様
- かまれると命にかかわる

STOP

- 素足・サンダルなどで歩かない
- 不用意に草むらに手を入れない
- 見つけても刺激しない

ヤマカガシ

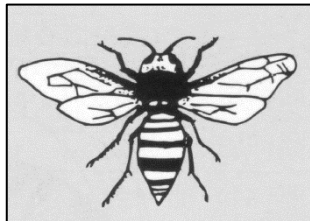


- 全体に黒っぽく、首筋は黄色
- 黒い斑点と赤い模様が目立つ
- 奥歯・首筋から毒液を出す
- 深くかまれると命にかかわる

STOP

- 素足・サンダルなどで歩かない
- 不用意に草むらに手を入れない
- 見つけても刺激しない

スズメバチ



- 攻撃性、毒性とも強い
- 刺されると命にかかわる
- 秋に被害が多い

STOP

- 飛んでいるハチを手ではらったり、つかまえようとしたりしない
- 巣に近づいたり、刺激したりしない



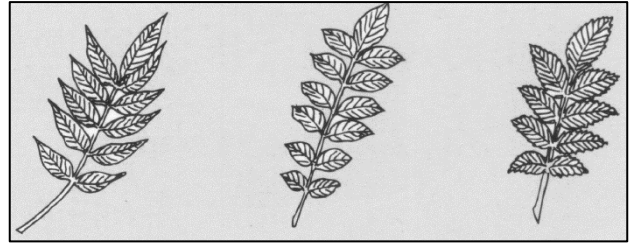
◎ 野外を歩くときの服装を整えよう

- ・ 長そでの上着、長ズボン、歩きやすい靴、帽子を着用しよう

◎ 周囲の動植物に気をはらおう

- ・ 見つけても、さわったり、つかまえたり、殺そうとしたりしない

ハゼノキ ・ ヤマウルシ ・ ヌルデ

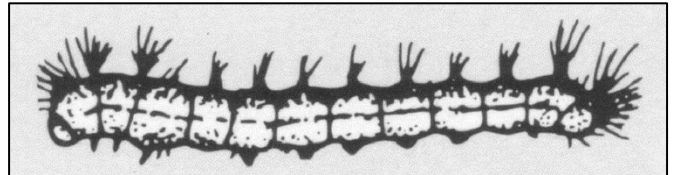


- 「まけの木」ともよばれる
- 植物体すべてが毒をもつが、とくに樹液に注意

STOP

- ふれただけで皮膚に炎症をおこすこともあるので、さわらない

ケムシ

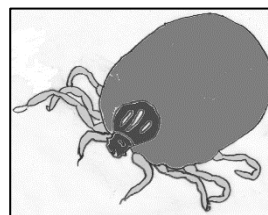


- ドクガ・マツカレハなどの幼虫は、毛に毒がある
- 体や衣服についても、素手でつかんだりはらったりしない
- 毒針毛がついた時、こすったりかいたりしない

STOP

※ 毒針毛は、セロハンテープをあてて取り除くか、そっと洗い流すのがよい

マダニ



- 0.3～1cmの大きさ
- かまれると命にかかわることがある
- 無理に引きぬくとちぎれて口器の一部が皮膚に残る

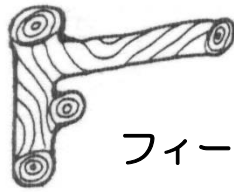
STOP

- 素肌をださない
- 無理にとらない

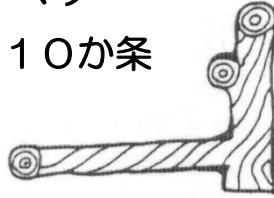
※ 無理にとらずに病院へかまれた後、発熱などがあれば病院へ



持ち帰る ごみと思い出
豊かな心



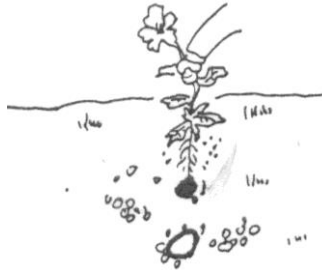
フィールド
マナー
10か条



みんなの自然 少しの採集
多くの観察



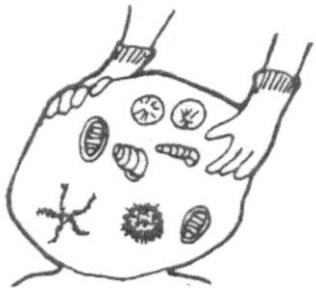
捨てるより 拾って歩く
やさしい手



持ち帰り やめて守ろう
みんなの自然



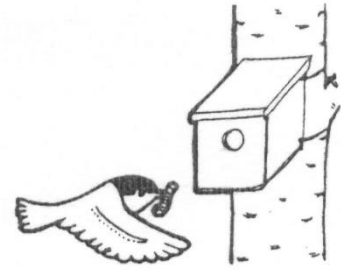
木や石は そっとそのまま
自然のままに



観察が 終われば返そう
もとどおり



ひそやかに 耳を澄ませば
近づく自然



遠くから そっと見守る
小鳥の巣箱



いたわろう 自然の中の
小さな命



みんなで考えて

実行しよう



大切に 守って知ろう
郷土の文化

野外体験学習 服装・持ち物

用意ができれば、□に印をつけましょう。

帽子（白色が望ましい） 長そで 長ズボン

ナップサック

山道では転倒の危険性があるため、背負うことができ、両手が自由になるものがよい。



五色台のしおりと地図

(購入していない学校は学校のしおり)

筆記用具

タオル

軍手

レジャーシート

(昼食時に使用する)

雨具

(野外での学習時は、カッパを着用する)

古新聞

ビニール袋

ティッシュペーパー

ペットボトル（水筒）

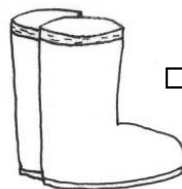
※ 弁当は昼食時に各場所に配達されるが、食べ終えた空箱は自然センターまで持ち帰る。

必要に応じて準備する物



防寒着

気候に応じて着用



長靴

小原海岸コースで必要
(自然センターで借りる)

<引率の先生方へ>

- ・ 各所で公衆トイレを利用できますが、念のためにウェットティッシュやトイレットペーパー等を準備しておくことをおすすめします。
- ・ 夏季は、蚊やダニ等多いので、虫除けスプレー等を準備してください。

※このプリントは、しおり等で利用していただいてもかまいません。